

「ひと・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府」を目指して

甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

令和元年度年次報告書〈概要版〉

年次報告書について

- 本市では、平成 23 年度に甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、「2030（R12）年度の温室効果ガス排出量を、2008（H20）年度比で 25%削減」という中期目標を掲げ、市民、事業者、行政等の多様な主体の参加・連携により、目標の達成に向けた取り組みを実施しています。
- 年次報告書では令和元年度に実施した、2030（R12）年度の中期目標の実現に向けた、重点的な取り組み（重点プロジェクト）として、温暖化の要因である温室効果ガスの排出を抑制する「6つのアクションプラン」と「地球温暖化への適応策」の施策の取り組み状況等についてまとめています。

アクションプラン 1



環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進

《人づくり・地域づくり・協働の推進》

1. 環境教育の推進

〈本市の取り組み〉 14 施策

- ◆市内小学生を対象とした「太陽エネルギー・自然エネルギー体験教室」

（環境保全課、NPO 法人みどりの学校と協働）

〈市民、事業者、NPO の取り組み〉 16 施策

- ◆エコ×エネ子どもキャンプ（やまなし環境財団委託事業）の実施

（山梨県地球温暖化防止活動推進センター）

2. 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進（産学官民協働の推進）

〈本市の取り組み〉 4 施策

- ◆事業者・NPO等との協働による環境教育プログラムの実施（環境保全課）

〈市民、事業者、NPO の取り組み〉 7 施策

- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会他、地域の団体等との協働による地球温暖化防止の推進

（NPO 法人みどりの学校）

イチオシの取り組み

～ごみへらし隊による地域における環境教育の推進～【甲府市】

市民に対する啓発活動を強化することを目的に、平成16年4月から指導業務専門職員による「ごみへらし隊」を編成し、エコ工作や出前講座、学習会を幼稚園・保育所から大学までの教育機関や自治会関係など若年層から一般まで広い層を対象に実施し、ごみ減量と資源リサイクルに対する市民意識の向上を図っています。

アクションプラン2



再生可能エネルギーの導入・普及促進

《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》

1. 太陽エネルギーの活用

《本市の取り組み》 6施策

- ◆甲府市クリーンエネルギー機器普及助成金制度（環境保全課）

《市民、事業者、NPOの取り組み》 11施策

- ◆太陽熱温水器の有効性についてのノウハウの提供（NPO法人みどりの学校）

2. バイオマスエネルギーの活用

《本市の取り組み》 4施策

- ◆污泥焼却炉における重油（化石燃料）を代替エネルギーに転換（浄化センター）

《市民、事業者、NPOの取り組み》 6施策

- ◆各種学習会、イベント等で木質バイオマス利用の啓発活動（NPO法人みどりの学校）

3. 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用

《本市の取り組み》 2施策

- ◆上下水道における再生可能エネルギーの利活用として、山宮減圧槽（小水力発電）の運営（浄水課）

《市民、事業者、NPOの取り組み》 2施策

- ◆小水力発電施設（カワセミ1号）の見学会等による普及啓発（甲府市地球温暖化対策地域協議会）

イチオシの取り組み

～P2Gシステムの技術開発及び実証研究への参画～【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

山梨県などと連携し、CO₂フリーの水素エネルギー社会の実現に向けたP2Gシステムの技術開発及び実証実験を推進するため、甲府市の米倉山太陽光発電所の太陽光発電による電力により、水素の製造、貯蔵及び利用するP2Gシステムの確立を目指し技術開発及び実証研究を実施しています。

P2Gシステムとは再生可能エネルギーの不安定な電力から水素を製造し、貯蔵及び利用するシステムで、長期間の貯蔵や輸送が可能な水素の特性を活かして、天候の変化によって変動する再生可能エネルギーの発電量の安定化に資する技術として期待されているもので、製造段階からCO₂が発生しないことから環境負荷の低減に大きな効果が見込まれています。

アクションプラン3



潤いある森林の整備

《森林整備》

1. 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）

《本市の取り組み》 8 施策

- ◆「水源林植樹の集い」の開催、奥御岳市有林内での植樹活動（林政課）
- ◆森林を利用した環境教育の推進（林政課）

《市民、事業者、NPO の取り組み》 5 施策

- ◆地域の間伐材を利用した薪づくり（やまなし木質バイオマス協議会）

イチオシの取り組み

～「水源林植樹の集い」～【甲府市】

市民の水源林は、甲府市の秩父山系の主峰金峰山の南麓に広がる森林で、甲府市水道水源保護地域とされ「緑のダム」として重要な役割を担っています。この水源林を次世代に残すため、広葉樹の植林を行っています。本市の豊かな森林資源は、水源かん養、自然災害防止、生物多様性の保全や地球温暖化の緩和など公益的機能を有しており、この恵まれた水源環境を継承していくための取組として、市民との協働による水源林づくりを行っています。

アクションプラン4



地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動

《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》

1. 省エネ行動の普及促進

《本市の取り組み》 5 施策

- ◆緑あふれるまちづくり（緑のカーテン）の推進（環境保全課、市立甲府病院、上下水道局）

《市民、事業者、NPO の取り組み》 13 施策

- ◆ゴーヤやぶどうによる緑のカーテンづくりの実施

（国母工業団地工業会、JA みらい、甲府市立小中学校長会）

2. 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進

《本市の取り組み》 10 施策

- ◆市職員を対象とした安全運転研修においてエコドライブの啓発を実施（環境保全課）
- ◆やまなしエコ通勤トライアルウィークへの参加（交通政策課）

《市民、事業者、NPO の取り組み》 5 施策

- ◆「エコ通勤奨励制度」において、エコ通勤の実施（パルシステム山梨）
- ◆公共交通機関の利用推奨によるエコ通勤の促進（東京電力パワーグリッド㈱）

イチオシの取り組み

～やまなしバスコンシェルジュの運営にバス事業者として参画～【山梨交通㈱・山梨県バス協会】

「やまなしバスコンシェルジュ」は、路線バスの利便性を高め利用促進を図るため、産学官連携により作成され、バスロケーションシステムと観光情報が連動した、山梨全域を網羅する山梨県バス総合案内システムです。山梨県内で運行するバス車両に設置したGPS端末から位置情報を取得し、バスの運行経路や接近情報を提供するとともに、停留所の位置や時刻表に加えて停留所周辺の観光情報も網羅し、これらをパソコンや携帯端末（スマートフォン・タブレットなど）に提供することにより、バス利用者の利便性が向上することで公共交通の利用促進が図られています。

【パソコン】

<https://busmaps.jp/yamanashi/>

【携帯端末】

<https://m.busmaps.jp/yamanashi/modules/BusMap2/smartphone/>

アクションプラン5



賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

1. 建物・機器による省エネの推進

《本市の取り組み》 10 施策

- ◆スポーツ施設や学校等の夜間照明（水銀灯）をLED化（スポーツ課）

《市民、事業者、NPO の取り組み》 4 施策

- ◆エコジョーズ、エネファームの導入促進活動（東京ガス山梨㈱）

2. 緑あふれるまちづくり（都市緑化・ヒートアイランド対策の推進）

《本市の取り組み》 11 施策

- ◆透水性舗装の推進によるヒートアイランド対策（都市整備課、道路河川課）

《市民、事業者、NPO の取り組み》 3 施策

- ◆屋根緑化の情報提供（学習会、各種セミナー等）（NPO 法人みどりの学校）

3. クリーンエネルギー自動車（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等）の普及促進

《本市の取り組み》 4 施策

- ◆公用車への電気自動車・燃料自動車の導入（管財課）
- ◆リサイクルフェアにおいて、クリーンエネルギー自動車の展示による普及啓発（環境保全課）

《市民、事業者、NPO の取り組み》 4 施策

- ◆社有車、公用車への電気自動車の導入（国母工業団地工業会、甲府商工会議所）
- ◆社有車に、燃料電池車を導入し、水素ステーションと併せ PR 活動を実施（山梨交通株）

イチオシの取り組み

～企業での高効率機器設置の普及促進～【東京ガス山梨株】

企業では、近年、環境意識の高まりのなかで、高効率・省エネ機器の導入に関するニーズが高まっています。そうした企業におけるニーズに対応し、技術開発や先進的な機器の提案等を積極的に行っていくことでSDGs等の環境目標の達成に貢献しています。

アクションプラン6



持続可能な循環型社会の構築

《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

1. 廃棄物の3R（Reduce（発生抑制）・Reuse（再利用）・Recycle（再資源化））の推進

《本市の取り組み》 13 施策

- ◆容器包装廃棄物（紙箱・紙袋・包装紙）の分別回収（減量課）

《市民、事業者、NPO の取り組み》 8 施策

- ◆会員事業所から回収したミックスペーパーの古紙再生品原料として利用（甲府商工会議所）

イチオシの取り組み

～会員企業による共同リサイクル事業～【国母工業団地工業会】

各企業から排出される紙類、廃プラスチックや木くずなどの廃棄物を会員企業が一定のルールで分別し、回収することにより、効率的に資源の循環がなされるよう共同リサイクル事業を行っています。企業活動等で排出される様々な廃棄物を分別回収し、紙類（段ボール、新聞、雑誌、ミックスペーパー、模造紙など）の再利用や、廃プラスチック・木くずの固形燃料化など、再資源化を行う効率的な廃棄物処理システムを構築しています。このシステムにより、会員企業や回収業者の負担軽減を図り、温室効果ガスの排出量削減に努めるとともに環境負荷をできる限り低減することを目指しています。

地球温暖化への適応策

《健康被害の予防》 《自然（水）災害への対応》 《水環境・水資源の保全》
《食糧問題への対応》 《自然生態系の保全》



（１）健康被害の予防

《本市の取り組み》 7 施策

- ◆6月1日～9月30日の夏期期間中に上下水道局1階ロビーを「クールシェアスポット」として開放（上下水道局）

《市民、事業者、NPOの取り組み》 2 施策

- ◆こまめな水分の補給や木の下等による休憩、戸外での運動制限の実施（公立小中学校長会）



（２）自然（水）災害への対応

《本市の取り組み》 2 施策

- ◆甲府市洪水ハザードマップの説明会を実施し、防災情報の伝達手段や水害時の避難行動などの説明や適切な避難行動の情報提供（防災企画課・防災指導課）

《市民、事業者、NPOの取り組み》 4 施策

- ◆危険箇所を保護者や児童に周知や防災マニュアルの見直し（甲府市立小中学校長会）



（３）水環境・水資源

《本市の取り組み》 1 施策

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において、水源かん養林のもつ重要な役割やその機能保全の取組、節水や雨水利用など水資源の保全などの情報提供（環境保全課）



（４）食料

《本市の取り組み》 1 施策

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において、それぞれの地域で温度変化した場合に潜在的食料生産量が低下するなどの情報提供（環境保全課）



（５）自然災害

《本市の取り組み》 1 施策

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において、気温上昇に応じた生物種の絶滅リスクの増加などの情報提供（環境保全課）

甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会の意見

- 本市では、実行計画の推進状況の検証や施策の推進方法について協議を行うため、市民、学識経験者、地元企業、団体、行政等の代表者で組織する「甲府市地球温暖化対策推進委員会」を設置し、実行計画の進捗状況や施策の推進方法等について協議を行っています。
- 令和2年度の実行計画における「市の取り組み」及び「市民、事業者、NPOの取り組み」について、推進委員会での意見等をアクションプランごとにまとめました。

全体

- 地球温暖化対策には、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を削減するための取組である「緩和策」と、緩和策に取り組んでも、地球温暖化の影響が避けられない場合、その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していく取組の「適応策」がある。この「緩和策」と「適応策」の組み合わせることにより相乗効果が生まれ、それぞれの取組が更に推進していくと思う。
- 新型コロナウイルスの影響によりテレワークの導入が進むなど、働き方改革や新しい生活様式が求められている中、それらに適応した新たな温暖化対策について考えていく必要がある。

アクションプラン1

- 子供の頃から、ごみを出さない、電気をこまめに消す等、日常生活の中から地球温暖化対策について意識付けをしていくことは非常に大事だと思う。また、子供達が学校で学んだことを、家に帰って家族と話をすることで、地域や家庭における環境教育にも繋がっていくと思うので、今後も継続した取り組みが必要である。

アクションプラン2

- 甲府市クリーンエネルギー機器普及助成制度について、家庭用蓄電池は助成対象ですが、電気自動車等についても蓄電池として活用できることから助成対象として検討していただきたい。
- 固定買取価格制度（改正FIT法）の買取価格の低下により、住宅用太陽光発電システムの導入が鈍化している中、災害時の活用方法について啓発するなどの普及促進のための工夫も必要である。

アクションプラン3

- 近年の集中豪雨による氾濫した河川の流木の多さをみると、森林の管理や整備が非常に重要であると感じました。また、地球温暖化対策として森林の持つ役割は非常に大きいので、森林の整備には積極的に取り組んでいただきたい。
- 「水源林植樹の集い」は、自らが植林をすることで水源を守るという体験を通じ、水源涵養の持つ役割の大切さを学ぶことのできる非常に素晴らしい活動である。自分の手で植樹することは、治山治水から始まり地球温暖化防止までを考える最高の教育現場であるので、将来を担う子供たちの参加を増やしていくことが必要である。

アクションプラン4

- 「緑のカーテン」づくりセミナーの開催や市内の教育機関、公共施設等にゴーヤの苗の配布より、緑のカーテンづくりの輪が広がってきている。

アクションプラン5

- 企業等においてもLED照明の導入が進んできている。電球の交換だけでも相当な費用が掛るので、LED照明の導入に対する助成などが実施できれば、更に加速していくと思う。
- 電気自動車は、CO₂を排出しないと同時に災害時の停電の際に蓄電池の代わりに活用できるメリットがある。電気自動車の普及促進には、充電整備などのインフラ整備が必要不可欠だと思うが設置や維持に費用がかかるので、充電設備の利用時間の延長などの検討も必要である。

アクションプラン6

- 有価物の回収は主に地域の自治会が主となって回収していますが、高齢化が進む中でごみ出しやごみ分別に負担が大きくなっているため、何らかの対応が必要だと思う。

まとめ

- 令和2年度の6つのアクションプラン（緩和策）」と「適応策」に関する施策及び取り組みの実施状況について、6つのアクションプラン（緩和策）においては、数多くの施策や取り組みが実施されているが、いくつかの項目では取り組みが進んでいない項目もある。また、6つのアクションプラン（緩和策）に取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合、その被害を少なくするための対策である適応策については、既に発生している温暖化の影響や温暖化の進行による中長期的な変化を踏まえる中で計画的に取り組むを進めて行くことが必要である。これらの取り組みについては、それぞれの状況や課題等の解決に向け、地域の特性や実情を踏まえることで、より実効性を持たせ、温室効果ガス削減への取り組み強化を図っていく。
- 年次報告書の情報提供方法についても検討し、取り組み状況や実施方法などがより多くの人へ更に周知されるよう、市民、事業者等への情報提供、共有についても推進していく。

甲府市では、温暖化対策情報サイト「こうふのeco」にて、計画の内容のほかCO₂削減・省エネに役立つ情報などを紹介しています。「こうふのeco」では、市民の皆様がツイッターから投稿可能な「わいわい広場」や、写真で温暖化の取り組みを紹介しあう「写真 de エコ自慢」もあります。

「こうふのeco」、ぜひ一度お立ち寄りください。

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/smartcity/index.html>

甲府市環境部環境総室環境保全課
〒400-0831 山梨県甲府市上町 601-4
055-241-4312